

最近の管内経済概況

(2020年8月の経済指標を中心として)

～ **新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きがみられる** ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、下げ止まりの動きがみられる。
- 個人消費は、一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- 観光は、一部に持ち直しの兆しがみられる。
- 公共工事は、減少している。
- 住宅建設は、低下している。
- 民間設備投資は、減少している。
- 雇用動向は、弱い動きがみられる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも減少している。

全体として、管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きがみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2020年10月12日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課
T E L : 011-709-2311 内線 2525
E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp
U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

管内経済概況判断の推移

(2020年10月現在)

発表月	2020年5月	6月	7月	8月	9月	10月	前月との判断比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症などの影響により、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況となっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況となっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きがみられる	
生産活動	弱い動きとなっている	急速に低下している	急速に低下している	下げ止まりの動きがみられる	下げ止まりの動きがみられる	下げ止まりの動きがみられる	
個人消費	弱い動きとなっている	一部が急速に低下している	一部が急速に低下している	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	
観光	悪化している	悪化している	悪化している	一部に下げ止まりの動きがみられる	一部に下げ止まりの動きがみられる	一部に持ち直しの兆しがみられる	
公共工事	減少している	増加している	減少している	増加している	減少している	減少している	
住宅建設	弱い動きとなっている	低下している	低下している	低下している	低下している	低下している	
民間設備投資	増加している	おおむね横ばいとなっている	減少している	減少している	減少している	減少している	
雇用動向	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	
企業倒産	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

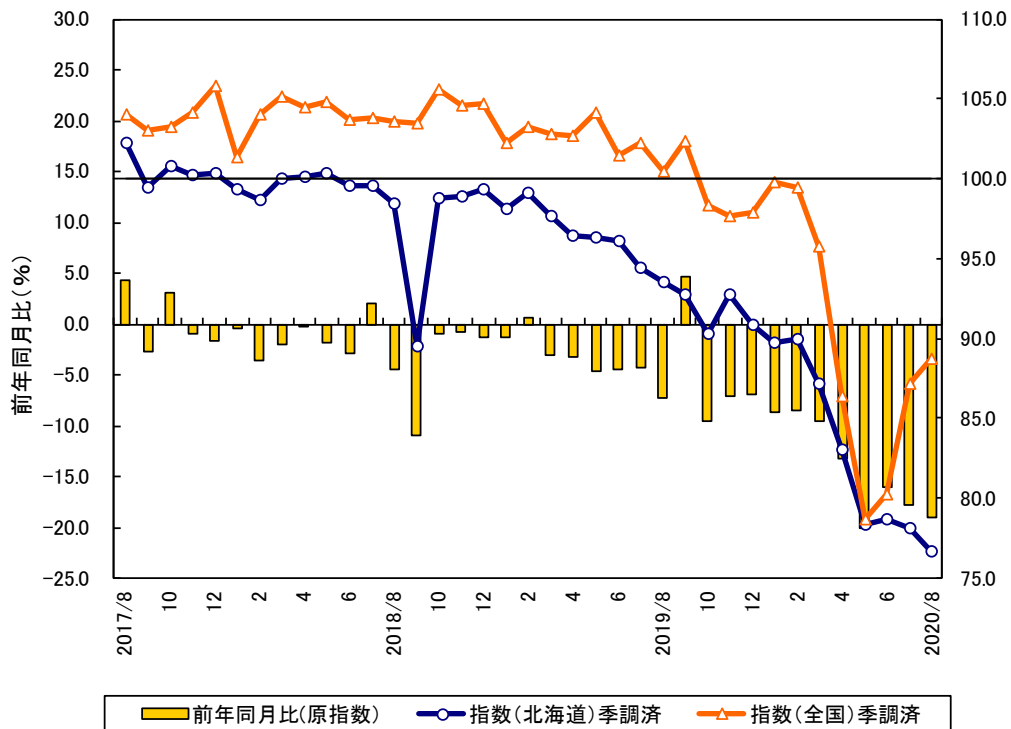
上方修正 据え置き 下方修正

生産活動 ～ 下げ止まりの動きがみられる ～

8月の鉱工業生産は、前月比▲1.8%と2か月連続で低下した。
 低下業種は、鉄鋼業など10業種となった。上昇業種は、窯業・土石製品工業など5業種となった。

< 8月 >	
季節調整済指数	
北海道 (速報)	76.7 (前月比▲ 1.8%)
全国 (速報)	88.7 (前月比+ 1.7%)

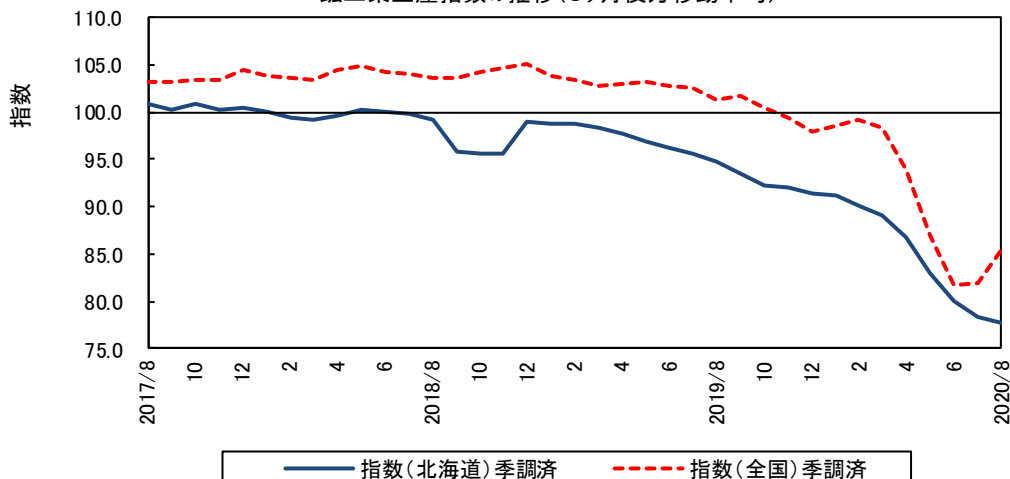
鉱工業生産指数 (2015年=100.0)



【ヒアリング内容】

- ・大規模な改修が続いているため、鋼半製品の生産が減少した。(鉄鋼業)
- ・新型コロナウイルス感染症などの影響で、新興国向け製品の需要が回復しないため、集積回路の生産が減少した。(電気機械工業)
- ・トンネル向けなどの需要が順調であることから、セメントの生産が増加した。(窯業・土石製品工業)
- ・感染症の影響で、自動車部品の生産が落ちていたが、中国向けが好調であることから、生産は回復してきている。(輸送機械工業)

鉱工業生産指数の推移(3ヶ月後方移動平均)

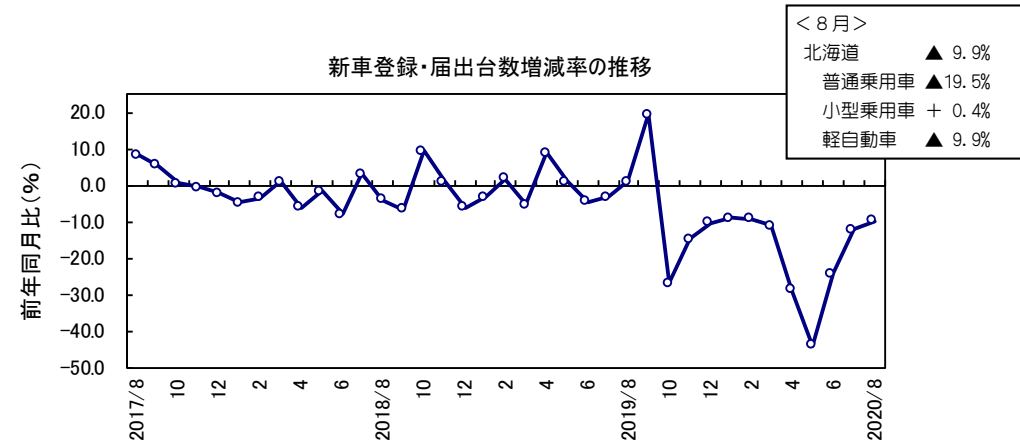
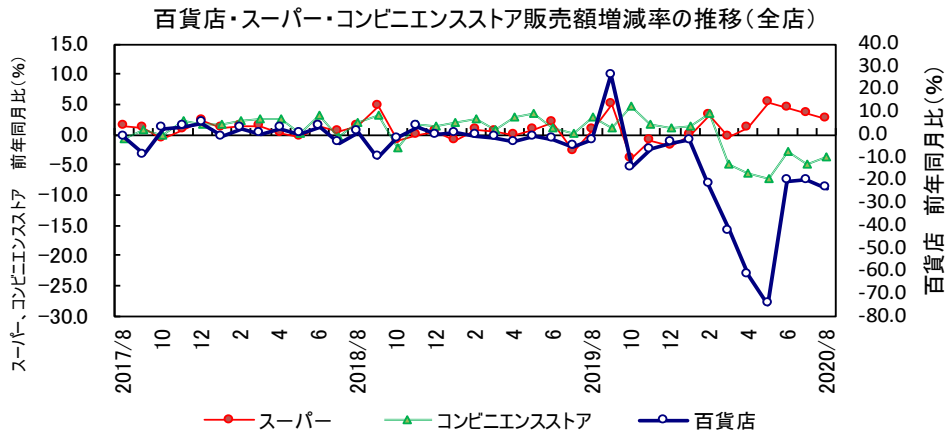


(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

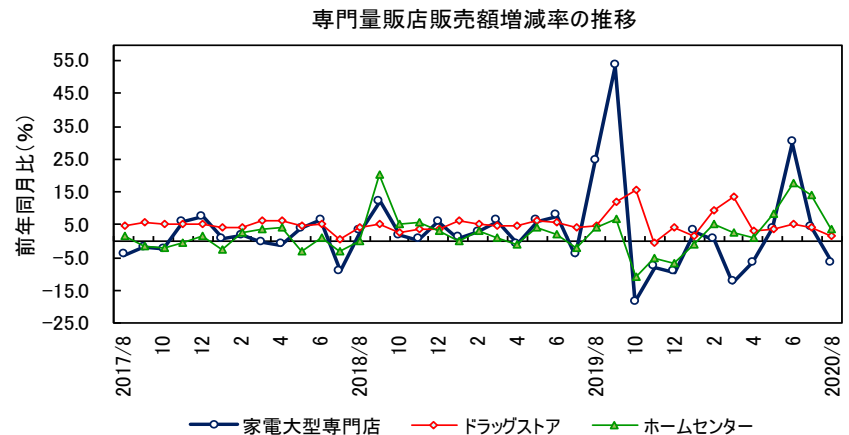
個人消費 ～ 一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる ～

8月の個人消費は、スーパー、ドラッグストア、ホームセンターは前年を上回ったものの、他の業態は前年を下回った。

- ・百貨店は、外出の自粛傾向などにより、前年同月比▲23.5%と11か月連続で前年を下回った。
- ・スーパーは、内食需要の継続から、飲食料品が好調だったことなどにより、同+2.7%と5か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアは、同▲3.8%と6か月連続で前年を下回った。
- ・家電販売は、同▲6.6%と4か月ぶりに前年を下回った。ドラッグストアは、同+1.3%と9か月連続で前年を上回った。
- ・ホームセンターは、同+3.6%と7か月連続で前年を上回った。
- ・新車販売は、同▲9.9%と11か月連続で前年を下回った。



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)



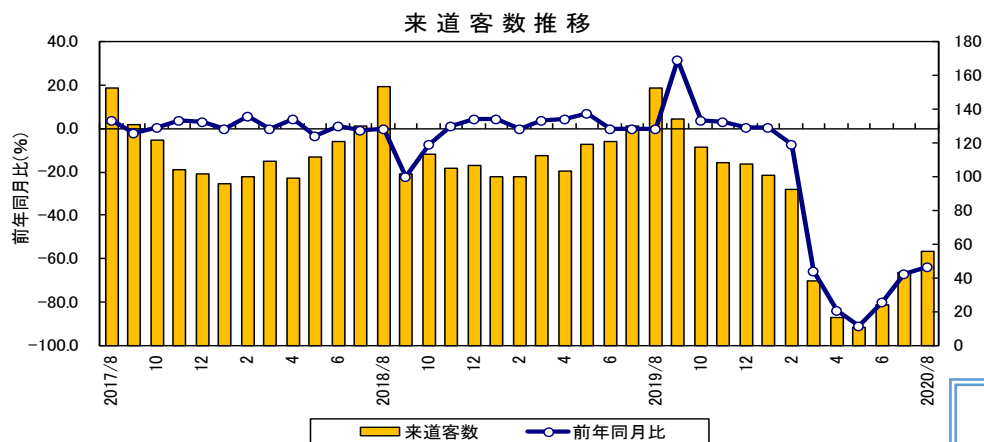
(資料：北海道経済産業局)

【ヒアリング内容】

- ・客数の減少傾向が続いていることから、客数に連動しやすい惣菜などの売上が減少している。加えて、出張やお盆の帰省などのお土産需要も減少していることから、食料品の売上の落ち込みが、売上全体の落ち込みより大きくなっている。(百貨店)
- ・外食自粛などの影響で、引き続き生鮮食品やデパート、調味料などの飲食料品が好調。また、お盆期間は、帰省を自粛した代わりに地元へギフトを送る動きが多くみられた。(スーパー)
- ・エアコンは、前年に猛暑で売上が大幅増したことの反動減などにより、前年に比べ売上が大きく減少した。(家電大型専門店)
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き衛生用品や食料品は好調な動きとなっているが、マスクの着用が習慣化していることなどにより、化粧品や風邪薬などの売上は低調となっている。(ドラッグストア)

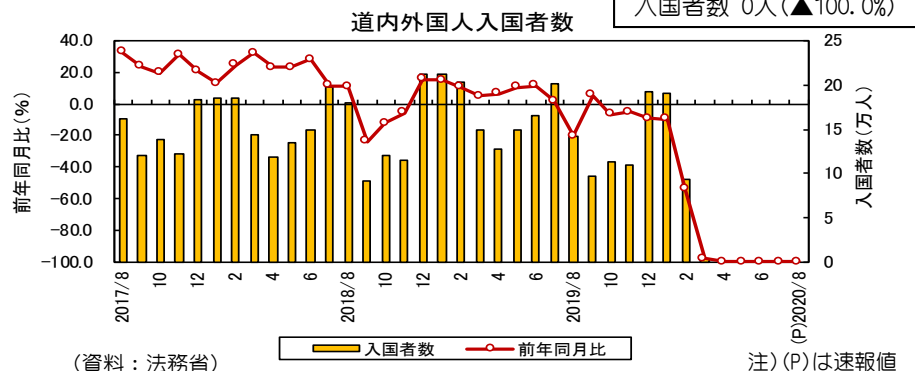
観光 ～ 一部に持ち直しの兆しがみられる ～

8月の来道客数は、前年同月比▲63.9%と7か月連続で前年を下回った。また、道内外国人入国者数は、0人で同▲100.0%と11か月連続で前年を下回った。



< 8月 > 来道客数 552,775人 (▲63.9%)
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)



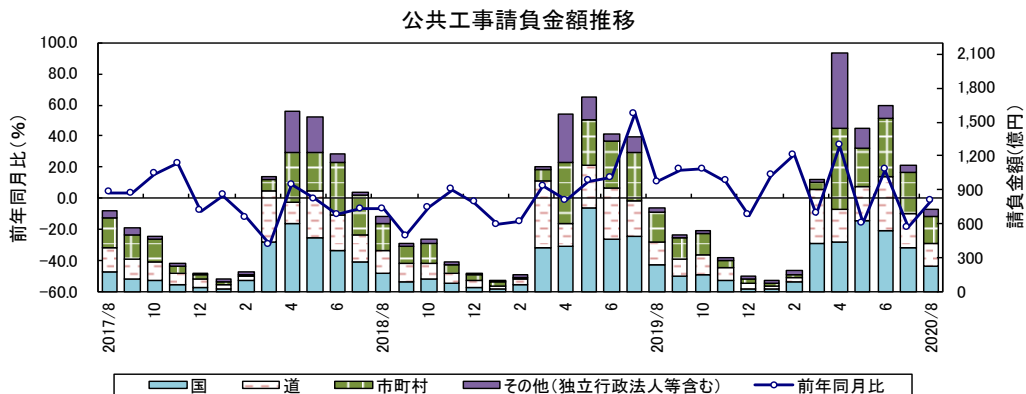
(資料：法務省)

【ヒアリング内容】

- ・8月は、各種の旅行キャンペーンの効果もあり、入込客数が例年の4割程度まで回復した。修学旅行者などを乗せた観光バスの姿も見られるようになった。(関係機関)
- ・9月のシルバーウィークは、土産物を買っている商店街は例年並みにお客が入ったようだが、平日は依然として少ないため、全体では入込客数は例年並みとはならないだろう。(関係機関)

公共工事 ～ 減少している ～

8月の公共工事請負金額は、道は前年を上回ったが、国、市町村は前年を下回り、前年同月比▲1.2%と2か月連続で前年を下回った。



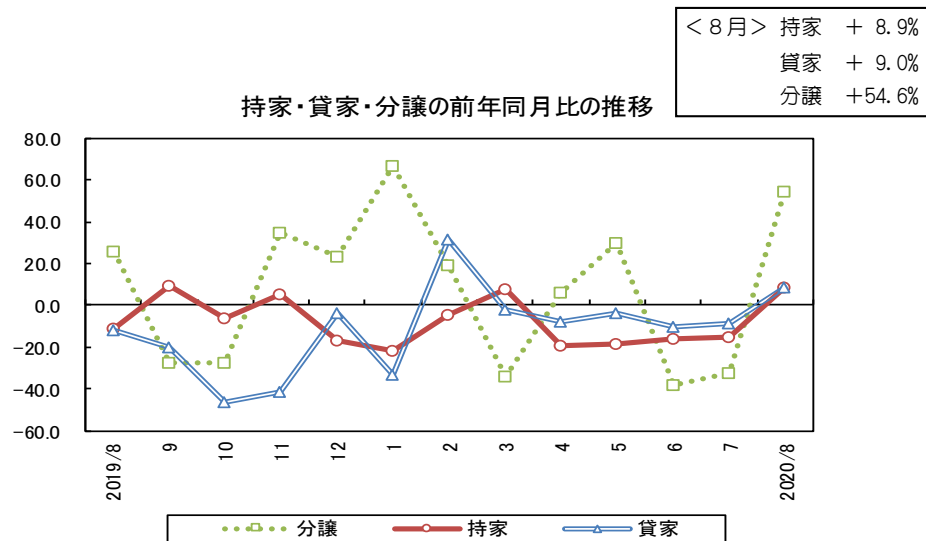
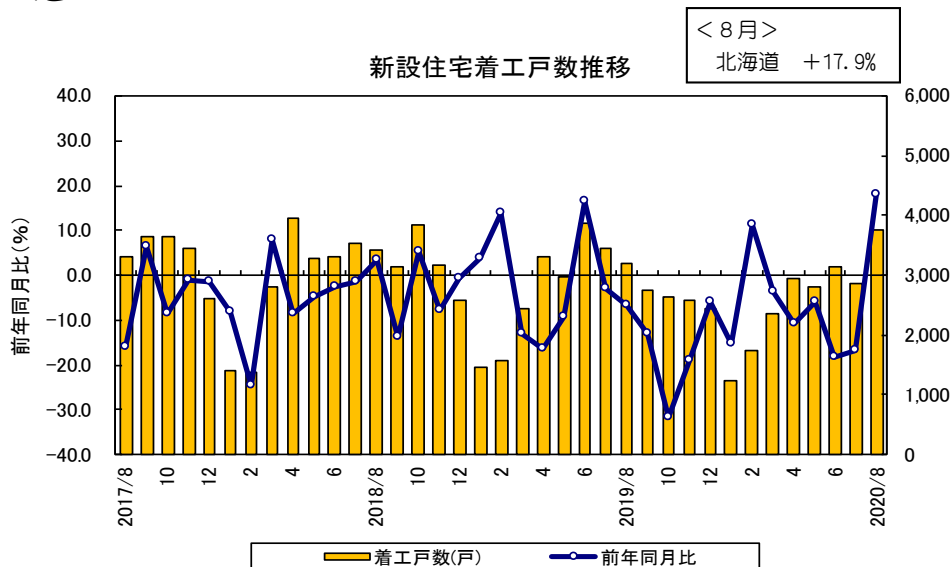
< 8月 >
 北海道 ▲1.2%
 (内訳)
 国 ▲3.4% 道 +1.6% 市町村 ▲12.4% その他 +98.4%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ~ 低下している ~

8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲の全てで前年を上回り、前年同月比+17.9%と6か月ぶりに前年を上回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ~ 減少している ~

2020年度の設備投資計画は、全体で前年度比▲8.8%と4年ぶりに前年度を下回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向

2020年10月1日発表

	2019年度	2020年度計画
北海道	+ 14.6%	▲ 8.8%
製造業	+ 17.7%	+ 8.8%
非製造業	+ 13.2%	▲ 17.3%
全国	▲ 0.6%	▲ 2.7%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2020年9月11日発表

	2019年度	2020年度
全産業	+ 17.8%	▲ 3.3%
製造業	+ 27.1%	▲ 9.4%
非製造業	+ 13.6%	+ 0.6%

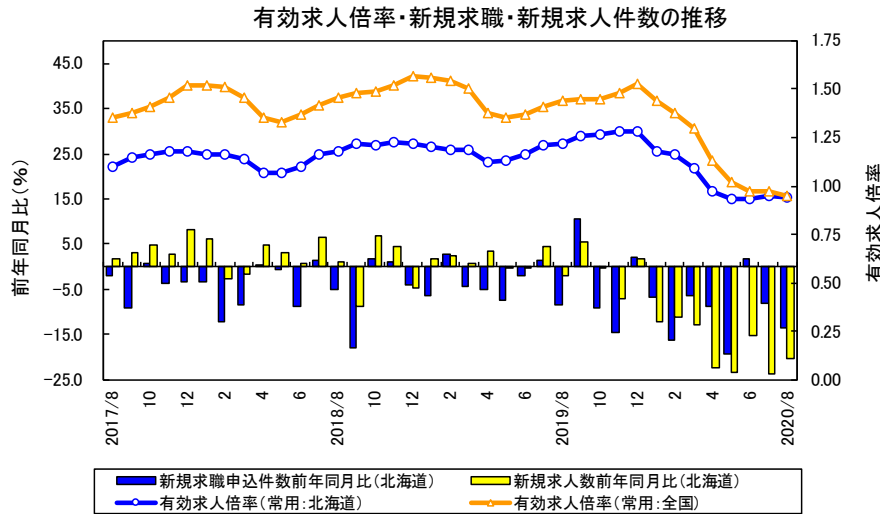
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

雇用動向 ~ 弱い動きがみられる ~

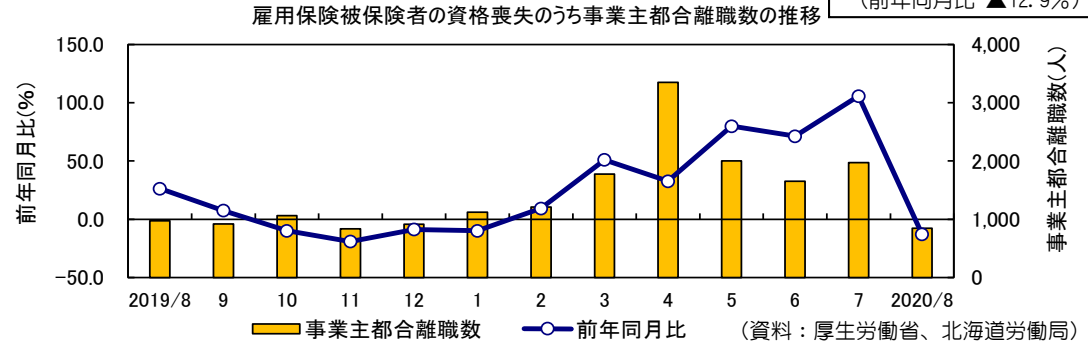
8月の有効求人倍率は、0.94倍と前年同月差0.28ポイント減少し、8か月連続で前年を下回った。



< 8月 >

北海道	有効求人倍率(常用)	0.94倍
	新規求人件数(前年同月比)	▲20.2%
	新規求職申込件数(前年同月比)	▲13.4%
全国	有効求人倍率(常用)	0.95倍

< 8月 >
事業主都合離職数 848人
(前年同月比 ▲12.9%)



企業倒産 ~ 件数、負債総額とも減少している ~

8月の倒産件数は11件で前年同月比▲47.6% (10件減)、また、負債総額は10.3億円で同▲65.8%と、いずれも4か月連続で前年を下回った。

